

日本語教師養成講座 初級演習 1 回め講義

授業テーマ	初級技能指導	出席：10名 欠：1名高橋	リアル 5名 大崎/城田/那須/大浦/中川
授業日	令和2年10月23日(金)	午後	担当：平岡 佳梨加 (ひらおか よりか)
目的	日本語教育に携わる		
到達目標	日本語を外国人に教えられようになる技能習得		
授業ポイント	日本語を教えるとは 日本語教師の役割 授業計画と教案		
準備	PC、口角レンズ、プロジェクター、PPT、他	準備物	
時間	講義内容・活動		指導上の留意点
1コマ	<ul style="list-style-type: none"> ・ スタート時にウォーミングアップ挿入 ・ 日本語を教えるとは ・ 日本語教師の役割 		→前回の授業スタートとの雰囲気の違いを受講生は確認したようだ 攻略ガイ P183~186、P209~215
2コマ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業計画 ・ 教案の流れ 		教案づくりの流れ
3コマ	本日の学びについての質疑応答や 本日の学びについての感想、学べたこと →全員がよく話すようになってきた(野村さんも)		<ul style="list-style-type: none"> ・ 受講生へのポジティブな声かけのコメント→30日

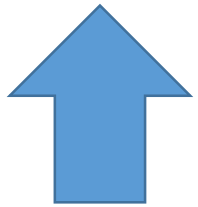
初級技術

平岡 佳梨加

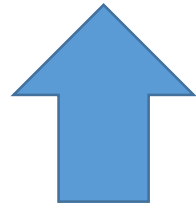
yorikahiraoka@gmail.com

5つの領域

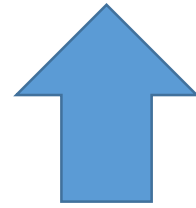
日本 語教育関係 者



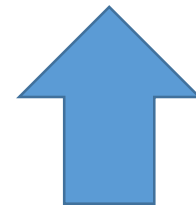
(異) 文化



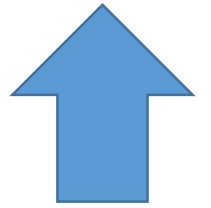
言語



学習



関連領域



人間

日本語を教える

国語教育と日本語教育の違い

すでに母語（第一言語）のある人が
第二、第三番目の言語として

日本語を学ぶ

日本語教師であるために

①心構え

②行動

準備

授業（初級・中級・上級・超上級）

授業を振り返る

③日本語教師として成長する

①心構え

A.日本語を取り巻く世界をどうみるか

- 「学習者」とはだれか
- 日本語に対する基本姿勢
- 正しい日本語とは何か
- 日本または世界について知っておきたいこと
- 様々な文化や価値観を理解する能力

①心構え

B.日本語教師のコミュニケーション学

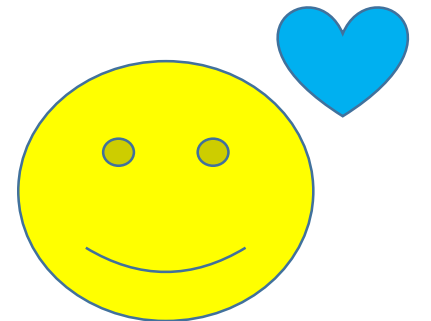
- ・自分とのコミュニケーション（社会的スキル）
- ・学習者とのコミュニケーション
- ・他の教師とのコミュニケーション
- ・教室をとりまく様々な人との
コミュニケーション

日本語教師の役割

学習者は、日本語をどうして学びたいのか。

1. 聞く
2. 話す
3. 読む
4. 書く

ことができるようになりたい！




学習者は、日本語を学んでどうしたいのか。

5. 自分の気持ちや考えを伝えたい

6. 日本での生活や文化を楽しみたい

7. 日系企業で働きたい

8. 日本の技術を習得し、国に帰り働きたい 

9. 豊かで、幸せな生活をおくりたい

 家族

日本語教師

教師は日本語教育を通じ学習者を支援する

豊かで、幸せな生活をおくりたい！

日本の技術を習得し、国に
帰り働きたい

日系企業で働きたい

日本での生活や文化を楽しみたい

自分の気持ちや考えを伝えたい

②行動

A.準備をする

- ・コースをスタートする前

- ①学習者について知る

- ②コース全体を知る

- ③教科書、問題集を確認する

- ④教材・教具の準備

- ⑤授業を組み立てる→教案づくり

①学習者について知る

氏名
 ・プロフィール
 ・経歴…
 ・性格…
 ・目指す日本語教師像…

My FAVORITE **PLACE**
 My FAVORITE **SPOT**
 My FAVORITE **CULTURE**
 My FAVORITE **FOOD**

授業中の人物
 ①生れた育った国…
 ②年齢…
 ③性格…
 ④日本語習得の理由…

お話ししよう

だいたいようば　ありがとうございます
 なみまげん
 なんさいですか　ごめんください
 まようさいです　じゅっさいです

1 2 3 4 5
 6 7 8 9 10

文字の紹介

	らくだ rakuda	ら		まんが manga	ま
	カメ kame	り		マンガ manga	み
	稲刈り いねかり	る		マンガ manga	む
	テレビ テレビ	れ		メガネ megane	め
	稲刈り いねかり	ろ		メガネ megane	も
	やあや yaaya	や		メガネ megane	わ
	家 ie	ゆ		メガネ megane	を
	稲刈り いねかり	よ		メガネ megane	ん

うたを歌いましょう
Bài hát "ĐẾM SỐ"
 "さうじ"
 1,2,3 4,5,6, 1,2,3 7,8,9,10
 1,2,3 4,5,6, 1,2,3 7,8,9,10
 1,2,3,4,5,6,7,8,9,10
 1,2,3 4,5,6, 1,2,3 7,8,9,10

ONEDANA NIHONGO
 文教科書
 1年生の国語

傳説 MOMOTARO

Ngày xưa ngày xưa, ở ngôi làng nhỏ có một đôi vợ chồng già chung sống với nhau.
 Một ngày nọ, bà lão đang giặt đồ bên cạnh dòng suối đã thấy một trái đào to trôi bằng bánh trên dòng nước. Bà lão liền vớt lên và mang trái đào về nhà, cắt ra chia cho ông lão cùng ăn. Nhưng bất ngờ thay, một bé trai bụ bẫm xuất hiện từ trong trái đào. Ông lão nói: "Hãy mình đặt tên cho thằng bé là Momo Taro (Taro trái đào) vì nó sinh ra từ trái đào nhé". Từ đó, họ xem Momo Taro như con ruột của mình. Momo Taro lớn rất thành và trở thành một cậu bé khỏe mạnh. Khi nghe tin quý vương ở phía bên kia biển quý phi dẫn làng, Momo Taro đã xung phong đi giặt giũ. Bà lão đã làm cho Momo Taro một túi bánh kê mang theo để ăn dọc đường.

Trên đường đi, Momo Taro gặp một con chó, nó nói: "Chào Momo Taro, nếu anh cho tôi một cái bánh kê tôi sẽ đi đánh quý với anh, già già". "Được chứ" Taro trả lời. Sau khi đi thêm một đoạn đường, Momo Taro và chó lại gặp một con gà lồi, gà nói: "Các tác các tác, cho tôi bánh kê tôi sẽ giúp anh đánh quý, các tác các tác". Momo Taro vui vẻ đồng ý. Thêm một đoạn nữa, một chú khỉ chuyên từ cành cây cao đu xuống và nói "Khạc khạc, hỏi ông sĩ Momo Taro, hãy cho tôi bánh kê tôi cũng sẽ đi cùng với anh".
 Và như thế, Momo Taro cùng với chó, gà lồi và khỉ vượt đoạn đường xa đến vùng đất của quý vương.

Khi họ vào hang quý, quý xanh và quý đỏ nhào ra tấn công, là lớn "Chúng mày làm gì ở đây, là người nông dân kia? Bọn ta sẽ băm nát chúng mày!". Thấy vậy, gà lồi xông lên mổ vào đầu quý, khỉ thì cào mặt chúng, trong khi chó thì cắn chân còn Momo Taro thì vung kiếm chém liên tục vào chúng.
 "Chúng tôi xin lỗi, xin lỗi. Chúng tôi không hại người nữa đâu. Xin hãy tha mạng". Bọn quý cúi đầu xin đầu hàng. Chúng xin dâng tặng của cải cho Momo Taro và dân làng.
 Momo Taro mang số của cải thu được quay về làng nơi có ông bà lão đang chờ. Và từ đó, họ sống bên nhau hạnh phúc.

日本一

② コース全体を知る

コース別授業時間割

	初級		中級		
	午前	午後	午前	午後	
進学2年コース					
時間数	200時間	200時間	200時間	200時間	200時間
週数	10週	10週	10週	10週	10週
週当たり時間数	20時間	20時間	20時間	20時間	20時間
授業内容	文法・会話 聴解・作文		読解・文法 会話・聴解 作文		
使用教材	「みんなの日本語Ⅰ・Ⅱ」		ニューアプローチ中級・中上級		テキスト
クラス数	4クラス(午前2クラス(301教室、402教室))				

コース	11月号授業				曜日・室
	月(伊藤)	火(宮岡)	水(宮岡)	木(宮岡)	
1	みんなの46課 A4・5・6/4～6・7・2-3 文法・例文 会話・問題	みんなの47課 文型導入 A/15-C	文法・例文 会話・問題	休日	休
2	みんなの48課 大数導入 A1～3/101～5/C1-2	みんなの49課 A4/106-C3 文法・例文 会話・問題	みんなの50課 可動・受身・尊敬 文型導入 A1-2/101-2	みんなの51課 A3～5/103～6/C1-3	休日
3	みんなの52課 早数復習 文法・例文 会話・問題	みんなの53課 文型導入 A1～3/101～5/C1-2	みんなの54課 会話・問題 テスト	みんなの55課 文法・例文 会話・問題 復習J	休日
4	中級へ行く 第1課	中級へ行く 第2課	中級へ行く 第3課	中級へ行く 第4課	中級へ行く 第5課
5	中級から学ぶ 第1課	中級から学ぶ 第2課	中級から学ぶ 第3課	中級から学ぶ 第4課	中級から学ぶ 第5課
6	中級から学ぶ 第6課	中級から学ぶ 第7課	中級から学ぶ 第8課	中級から学ぶ 第9課	中級から学ぶ 第10課

※中級へ行く/中級から学ぶは予習復習にします。
 中級へ行くは、まず初めに聴解リスニングで本文をディクテーションする。
 尚、作文は日本語の心ワークにして、口頭発表にしても良い。

④教材・教具の準備

・文字媒体

教科書・練習帳

生教材・加工教材・辞書類・図表(50音図表等)・文字カード



・視覚に訴えるもの

絵カード・写真・図表(地図等)

	W	R	Y	M	P	B	H	N	D	T	Z	S	G	K		
わ	ら	や	ま	ば	は	な	た	た	さ	か	か	あ			A	
い	り		み	び	び	に	ち	ち	じ	し	し	い			I	
う	る	ゆ	む	ぶ	ふ	ぬ	つ	つ	ず	す	く	く	う		U	
え	れ	ゆ	め	べ	へ	ね	て	て	ぜ	せ	け	け	え		E	
お	を	ろ	よ	も	ぼ	ほ	の	ど	と	そ	そ	こ	こ	お		O

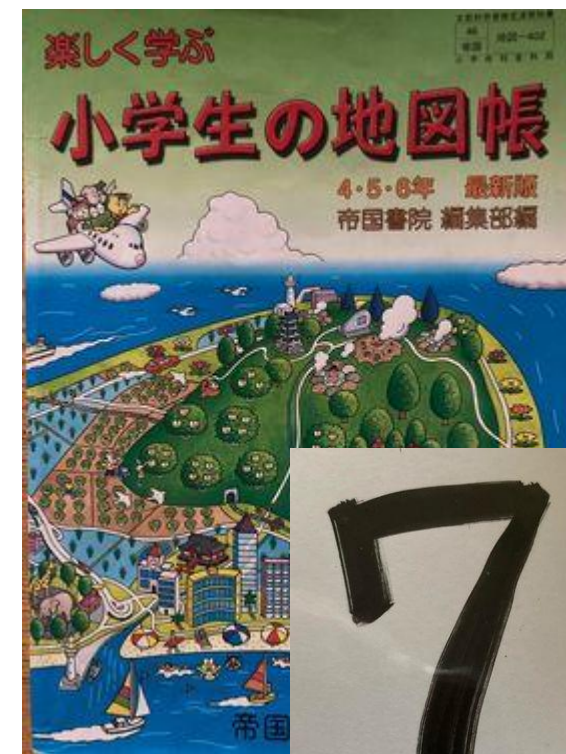
五十音図表

・聴覚に訴えるもの

音声テープ、ラジオ等番組、肉声

・視聴覚に訴えるもの

ユーチューブ、テレビ番組、映画、実演



⑤授業を組み立てる→教案づくり

22課①：連体修飾		JLPT準級(N4)		(授業前)	
授業テーマ	連体修飾	到達度	学生 100%	教師 100%	
授業日	2019年6月24日(月)	午前	1コマめ	授業者	増山
目的	・日本語の連体修飾の作り方を理解する。				
到達目標	・連体修飾が作れるようになる。				
指導ポイント	・連体修飾節の中の主語は「が」になる。				
準備	PC、プロジェクター	準備物	絵カード		
時間	学習内容・活動			指導上の留意点	
宿題の回収 & 授業小テスト	10分	①回収：・21課の句型練習帳 ・JLPT(N4)プリント ②22課の授業小テスト			・回収後、チェック ・自分で添削
導入①	20分	①連体修飾「～(物)」： T：(学生のペンを借りる) これはSIさんのペンです。一箇名詞+の+ペン どこで買いましたか。 SI：OOです。 T：OOで買いました、ペンです。 OOで買ったペンです 一箇普通体+ペン (以下、同様に導入) ・SIさんが使っているペンです。			・学生のペン

授業計画

授業の流れ

◆ウォーミングアップ→

復習→導入→練習→応用

A導入 → B練習 → C応用

A. 主題の導入

B. 練習・展開

C. 仕上げ(再確認)

教案

出席者 ○名		
テキスト 第2課 Drill 1, 2	教具 時計(模型)、2色のマグネット玉 模造紙(数字の表) 「A.M.」「P.M.」のカード	家庭学習 テキストを読む テープを聞く
本時間の到達目標	1. 1~12の数の数え方を覚える。 2. 時刻を言うことができるようになる。	新出語彙 ~時 午前 ごご 1~12 時
学習項目	1. 1~12の数 2. 「1時です」「2時です」...「12時です」 3. 「午前 1時です」「ごご 1時です」 4. 「1時半です」	

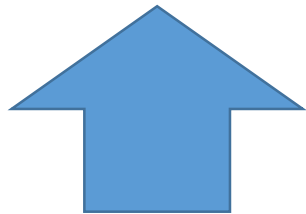
~分	テーマ	手順	備考
5	発音練習	①マグネットを黒板にはる ②T「よろしく」「ゆっくり」 →T「はやく」→C ③同様に「アメリカ」「がくせい」「とう きょう」「さんごう」「びょういん」	マグネット

授業で、ぜひ意識したいこと！

- ・ 時間コントロール
- ・ 教室コントロール
 - 全員発声
 - 個別発声
 - 個人ワーク
 - ペアワーク
 - グループワーク
- ・ 教師のジェスチャー・表情・声の大きさ・視線・立つ場所
- ・ 学習者の多様性と変化に対応する
- ・ 教師に求められる柔軟性と懐の深さ
- ・ 父性そこに母性をプラス

教師は2%の役割、
そして抱えこまない

学習者は、適切な道具(教材・教具)と
教師の適切な指示と助言さえあれば、98%は自分でできる!



自律学習

ファシリテーターにもなれる教師

初級技術

平岡 佳梨加

yorikahiraoka@gmail.com